

2020年6月のために提案された祈りの項目（日本版）

2020/05/29

この提案された祈りの項目は、2020年5月のメモリアルデー特別集会のアウトラインと負担を元に、2020年6月のために、日本福音書房によって作成されたものです。以下に挙げられている祈りの項目は、聖徒たちと召会の祈りを集中させ豊かにする助けとして提供されています。それらは、聖徒たちや諸召会を規制するものではなく、すべてを網羅するものでもなく、必ず採用しなければならないというものでもありません。最終的には、わたしたちのために、わたしたちの中で、わたしたちを通して、神と神のみこころにしたがってとりなしてくださるのはその霊です。とりなす者としての責任は、主と一つ霊になり、キリストと一つ思いになって、その霊によって感動された発表をもって内なる負担を下ろすことです。続けて、今日の世界情勢の観点から、主の回復の行動のために、強い霊を持ってうまずたゆまず祈りましょう。

ジャパングルペルワーク

Day1 霊の中において、神の心にかなう人になるよう祈る

わたしたちが霊の中において、地上で神の心にかなう人になり、天が開かれて、この世の運命に関する神のビジョンを見ることができるよう（啓1:10、4:1-2、使徒13:22）。

啓1:10 わたしは主日に霊の中にいた。すると、わたしの後ろのほうで、ラッパのような大声がするのを聞いた。

啓4:1 これらの事の後、わたしは見た。見よ、天で門が開かれた。そして、わたしが聞いた最初の声が、ラッパのように鳴り響き、わたしに語って言った、「ここを上って来なさい。これらの事後に必ず起こる事を、あなたに見せよう」。

啓4:2 直ちに、わたしは霊の中にいた。すると見よ、御座が天に据えられていて、その御座に座している方がおられた。

使徒13:22 神はサウロを退けた時、ダビデを王として、彼らのために立てられました。彼はまた、その人について証しをして言われました、『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心にかなう者で、わたしの意志をことごとく行なうであろう』。

Day2 地上での神の行動の指標としての世界情勢のために、またサタンの疲れきらせる策略に抵抗するために祈る

主が彼のエコノミーを完成するために、主権によって世界情勢、人の統治の歴史を案配してくださるように（使徒17:26）。世界情勢全体がその「陣痛」と共に、宇宙的な新しい人の完

全な出産を完成するために用いられるように（啓 12:1-2, 5）。また、サタンの疲れきらせる策略に抵抗し、わたしたちの心、霊、時間（機会）、献身、神への愛が新鮮に保たれるように（ダニエル 7:25）。

使徒 17:26　　また彼は、一人からあらゆる国民を造り、地の全面に住まわせ、予定された時季と居住の境界を定められました。

啓 12:1　　また、大いなるしるしが天に見えた。一人の女が太陽を着て、月を足の下にし、十二の星の冠を頭にかぶっていた。

啓 12:2　　彼女は子を宿していたが、陣痛と出産の苦痛で叫んでいた。

啓 12:5　　彼女は一人の子、男の子を産んだ。この子は鉄の杖で、すべての諸国民を牧養することになっている。彼女の子供は、神に、神の御座に携え上げられた。

ダニ 7:25　　また、彼はいと高き方に逆らう事を語り、いと高き方の聖徒たちを疲れきらせる。彼の意図は、時と律法を変えることである。彼らは一時と二時と半時の間、彼の手へ渡される。

Day3　　キリストの昇天からこの時代の終わりまでの世界史のビジョンを見て、福音の白い馬を加速させるために祈る

人類歴史に対する神の見方の十分な認識をもって祈り、そして戦争、飢きん、死によって福音が加速し、開展して極致にまで至ることを見て、わたしたちが神を最も満ち満ちた程度にまで獲得して、神の神聖なエコノミーの目標を完成するように。わたしたちがキリストの栄光の福音を宣べ伝える勝利者、白い馬の騎手になるように。（啓 6:2, 19:11, 13-14）

啓 6:2　　そして見ていると、見よ、白い馬があり、それに乗っている者は弓を持っていた。そして冠が彼に与えられた。彼は出て行って勝利を得た。そして、さらに勝利を得る。

啓 19:11　　またわたしは、天が開かれるのを見た。すると見よ、白い馬と、それに座している「忠信」と「真実」と呼ばれる方がおられた。彼は義の中で裁き、また戦う。

啓 19:13　　彼は血に浸された衣をまとっている。また、彼の名は神の言と呼ばれる。

啓 19:14　　そして天にある軍勢が白い馬に乗り、白くて清い細糸の亜麻布を着て彼に従った。

Day4　　主の回復の真理を流布するために祈る

主の回復の真理を流布することによって、主の再来を備え、回復と復興をイスラエルにだけでなく、全被造物にもたらすように。主がわたしたちに負担を与えて、福音の神聖な真理を学ばせ、主の回復のために、この真理を至る所に流布させてくださるよう（マタイ 24:14）。

28:19. イザヤ 11:9. ダニエル 11:32)

マタイ 24:14　そしてこの王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に
宣べ伝えられる。それから終わりが来る。

マタイ 28:19　だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼ら
をバプテスマして、

イザヤ 11:9　わたしの聖なる山すべてにおいて、これらは害を加えず、破壊しない。水が海
を覆っているように、地はエホバを知る知識で満ちるからである。

ダニ 11:32　彼は滑らかな言葉をもって、契約を破る者たちに、冒とくさせます。しかし、
自分の神を知る者たちは、力を示して事を行ないます。

Day5 「時のしるし」を見分け、うまずたゆまず祈る

現在の世界の情勢の中で、わたしたちは「時のしるし」を見分け、祈りに自分自身をささげ
て、うまずたゆまず祈るように(コロサイ 4:2. マタイ 16:3. ルカ 21:36. マタイ 24:32-
34. ローマ 13:11-14)

コロ 4:2　うまずたゆまず祈り、感謝しつつ祈りの中で目を覚ましていなさい。

マタイ 16:3　朝、空が赤く曇っているので、今日は嵐になると言う。あなたがたは空模様を
見分けることを知っているのに、時のしるしを見分けることができない。

ルカ 21:36　しかしあなたがたは、絶えず目を覚まして祈り求め、勝利を得て、これらの起
ころうとしているすべての事から逃れ、人の子の前に立つことができるように
しなさい」。

マタイ 24:32　しかし、いちじくの木からたとえを学びなさい。その枝がすでに柔らかくなり、
葉を出すようになれば、夏の近いことがわかる。

マタイ 24:33　そのようにあなたがたも、これらすべての事を見たなら、それは戸口まで近づ
いていると知りなさい。

ローマ 13:11　さらに、あなたがたはこの時を知っています。今はあなたがたがすでに眠りか
ら覚めるべき時なのです。なぜなら今、わたしたちの救いは、わたしたちが信
じた時よりも、近づいているからです。

ローマ 13:12　夜はふけて、昼は近づきました。ですから、暗やみのわざを脱ぎ捨てて、光の
武具を着けようではありませんか。

Day6 命が円熟し、この世の潮流に打ち勝ち、祭司となり、進んで主のそしりを担うた めに祈る

ビジョンを見るために、わたしたちが(1)命において円熟し(エゼキエル 1:1、ヘブル 6:1)、
(2)今日の時代にこの世の強い潮流に打ち勝ち(1:1)、(3)祭司となり(1:3、ローマ 15:16)、

(4) 進んで主のそしりを担うことができるように (エゼキエル 1:3, ヘブル 13:13)。

エゼ 1:1 第三十年の、第四の月、その月の五日に、わたしがケバル川のほとりで捕囚の民の間にいた時のことであるが、天が開き、わたしは神のビジョンを見た。

エゼ 1:3 エホバの言葉がカルデア人の地のケバル川のほとりで、ブジの子、祭司エゼキエルに強烈に臨み、エホバの御手はその所で彼の上にあった。

ヘブル 6:1 こういうわけで、キリストの初歩的な言を後にして、再び基礎を据えることをしないで、円熟にもたらされようではありませんか。

ローマ 15:16 それは、わたしが異邦人へのキリスト・イエスの奉仕者となり、神の福音の労苦する祭司となるためであって、ささげ物である異邦人が聖霊の中で聖別されて、受け入れられるためです。

ヘブル 13:13 ですから、わたしたちは彼のそしりを担い、営所の外に出て、彼へと行こうではありませんか。

”

Day7 天が開かれ、神との間に何の障壁もなく、神の言葉が明確に来て、神の御手がわたしたちの上にあるように祈る

ビジョンを見るために、(5) 天がわたしたちを開き (エゼキエル 1:1, マタイ 3:16, 使徒 7:56)、(6) 神とわたしたちの間に何の妨げもなく (エゼキエル 1:26)、(7) 神の言葉が明確にわたしたちに来て (1:3)、(8) 神の御手がわたしたちの上にあるように (1:3)。

エゼ 1:1 第三十年の、第四の月、その月の五日に、わたしがケバル川のほとりで捕囚の民の間にいた時のことであるが、天が開き、わたしは神のビジョンを見た。

マタイ 3:16 イエスはバプテスマされると、直ちに水から上がられた。すると見よ、天が彼に開かれた。そして彼は、神の霊がはどのように下って、彼の上に来るのをご覧になった。

使徒 7:56 彼は言った、「見よ、天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」。

エゼ 1:26 また、彼らの頭の上にある大空の上に御座のようなものがあり、サファイア石の外観のようであった。そして御座のようなものの上に、人のような外観の方がその上におられた。

エゼ 1:3 エホバの言葉がカルデア人の地のケバル川のほとりで、ブジの子、祭司エゼキエルに強烈に臨み、エホバの御手はその所で彼の上にあった。

Day8 神の御座が全宇宙の神の行政の中心であるという霊的ビジョンを見るために祈る

神は主権ある方として、神が求めているものを、神の心の願いと神の永遠のエコノミーにしたがって完成する全き能力を持っています (啓 4:11. ダニエル 4:35. ローマ 9:19-24)。御

座の上の神が、背後であらゆる人とあらゆる事を支配するように(イザヤ 6:1. 列王上 22:19)。

啓 4:11 「わたしたちの主また神よ、あなたは、栄光と尊貴と力とを受けるにふさわしいです。あなたは万物を創造され、あなたのみこころのゆえに、万物は存在し、創造されたからです」。

ダニ 4:35 地に住む者はみな無と見なされる。そして、彼は天の軍勢の中でも、地に住む者の間でも、みこころにしたがって行なわれる。彼の手抵抗して、「あなたは何をしておられるのか？」と言い得る者はない。

ローマ 9:20 しかし人よ、あなたは何者なので、神に口答えするのですか？ 形造られたものが、それを形造った者に向かって、「なぜあなたは、わたしをこのように造ったのか？」と言えるのでしょうか？

ローマ 9:21 それとも陶器師は土くれに対して、同じかたまりから一つを尊い器に、もう一つを卑しい器に、造る権威を持っていないのですか？

イザヤ 6:1 ウジヤ王が死んだ年に、わたしは、高く上げられた御座に主が座しておられ、また彼の衣のすそが宮を満たしているのを見た。

”

Day9 世界情勢の背後にある霊的光景のビジョンを見るために祈る

霊的世界ではキリストが首位である方です(10:4-9)。ダニエル第10章における霊的光景は、目に見えない霊的戦いに従事している善良な霊と邪悪な霊を含んでいます(12-13, 20-21節)。これらの闘争が人類の政権の間で進行しているとき、神がその背後で世界情勢を管理するように(7:10)。

ダニ 10:5 目を上げて見ると、見よ、ひとりの人がいて、亜麻布をまとい、腰にはウバズの純金の帯を締めていた。

ダニ 10:6 彼の体は緑柱石のようであり、彼の顔の外観はいなずまのようであり、彼の目は火のたいまつのようにあり、彼の腕と彼の足は磨かれた青銅の輝きのようであり、彼の言葉の声は群衆の声のようであった。

ダニ 10:12 彼はわたしに言った、「恐れてはなりません。ダニエル、あなたが心を定めてこの事を理解しようとし、またあなたの神の御前であなた自身を悩ませようとした初めの日から、あなたの言葉は聞かれているからです。わたしは、あなたの言葉のゆえに来たのです」。

ダニ 10:13 しかし、ベルシャの王国の君が二十一日間、わたしに立ちはだかったが、第一の君の一人ミカエルが来てわたしを助けてくれました。わたしがベルシャの王たちと共に、そこにとどまっていたからです。

ダニ 7:10 一筋の火の流れが彼の御前から現れ、出て来た。千の千の者が彼に対して務めをし、万の万の者が彼の御前に立っていた。裁く方が法廷に座し、いくつかの書物が開かれた。

”

Day10 キリストが神の永遠のエコノミーにしたがった神の行政の中心であることを見るために祈る

昇天の中のキリストはすでに御座に着いており、神の行政、神の統治上の管理を執行しています（ヘブル 12:2. 啓 3:21. 22:1. 5:6）。御座に着いているキリスト、すなわち、神の宇宙的な統治における天的な行政執行者が、獅子・小羊、勝利を得た贖い主であり（啓 5:1-14）、地上の諸王の支配者であることを、わたしたちが見るように（啓 1:5）。

ヘブル 12:2 わたしたちの信仰の創始者、また完成者であるイエスを、ひたすら見つめていなさい。彼はご自分の前に置かれた喜びのために、恥をもいとわないで十字架を耐え忍び、そして神の御座の右に座しておられるのです。

啓 3:21 勝利を得る者を、わたしと共にわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父と共に彼の御座に着いたのと同じである。

啓 5:5 すると、長老の一人がわたしに言った、「泣くな。見よ、ユダ族の獅子、ダビデの根が勝利を得たので、その巻物と七つの封印を開くことができる」。

啓 5:6 わたしはまた、御座と四つの生き物の間、長老たちの間に、ほふられたばかりのような小羊が立っているのを見た。それには七つの角と七つの目があった。それは全地に遣わされた神の七つの霊である。

啓 1:5 また忠信な証人、死人の中から最初に生まれた方、地上の諸王の支配者であるイエス・キリストからあるように。わたしたちを愛して、彼の血によってわたしたちを罪から解放し、

Day11 神聖な歴史の中で生きて、勇士となるために祈る

わたしたちが人類歴史の中に生きるだけではなく、神聖な歴史の中でも生きて召会生活を実行し（ローマ 12:1-2. Iヨハネ 2:15-17）、キリストと共に天から下って来る勇士となることができるように（ヨエル 3:11）。

ローマ 12:1 兄弟たちよ、こういうわけで、わたしは神の慈しみを通して、あなたがたに勧めます。あなたがたの体を、神に喜ばれる、聖なる、生きた犠牲としてささげなさい。それが、あなたがたの理にかなった奉仕です。

ローマ 12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。

Iヨハ 2:15 世と世にあるものを愛してはいけません。だれでも世を愛するなら、御父への愛は彼の中ありません。

- Iヨハ 2:16 なぜなら、すべて世にあるもの、すなわち肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄とは、御父から出たものではなく、世から出たものであるからです。
- Iヨハ 2:17 世と世の情欲は過ぎ去っていきます。しかし、神のみこころを行なう者は永存するのです。
- ヨエル 3:11 あなたがた、周りのすべての諸国民よ、急ぎ来たれ、集まれ。エホバよ、その所に、あなたの勇士たちが下って来るようにしてください！

Day12 わたしたちの生活、日常の歩み、学業、仕事、事業が、今日の神の歴史の一部となるために祈る

神がご自身の歴史において、愛する勝利者たちの中で行動し、活気づけることができるように。わたしたちが今日、この地上で、命において、生活において、わたしたちが行なうすべてにおいて、神と一であることができるように。わたしたちが神の今日の歴史を書くことができるように！（Iテモテ 3:15-16. ピリピ 1:20. ヨシュア 1:3-9）。

- ヨシュ 1:5 あなたの生涯のすべての日々、だれもあなたの前に立ちはだかることはできない。わたしはモーセと共にいたように、あなたと共にいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。
- ヨシュ 1:6 強くあれ、大胆であれ。なぜなら、わたしが父祖たちに与えると誓った地を、あなたはこの民に嗣がせるからである。
- ヨシュ 1:7 ただ強く、大いに大胆であれ。わたしのしもべモーセがあなたに命じたすべての律法にしたがって、守り行ないなさい。そこから右にも左にもそれてはならない。そうすれば、あなたはどこへ行っても成功する。
- ヨシュ 1:8 この律法の書をあなたの口から離すことなく、あなたはそれを昼も夜も口ずさみ、その中に記されているすべてのことにしたがって、必ず行なわなければならない。そうすればあなたは自分の道を繁栄させ、また成功する。
- ヨシュ 1:9 わたしはあなたに命じたではないか？ 強くあれ、大胆であれ。恐れてはならない、おののいてはならない。あなたがどこへ行っても、エホバ・あなたの神があなたと共にいるからである」。

Day13 神のエコノミーと、その中心である神の中心的な働きのために祈る

神聖な歴史の中で、神のエコノミーと、その中心である神の中心的な働きが回復されるように。神がご自身をキリストにあつてわたしたちの中へと造り込み、ご自身をわたしたちと一にして、ご自身を表現することができるように（エペソ 3:16-17 前半. 4:4-6）。…「エペソ第3章 16-17 節は、神が願っている事を知るための最高の御言葉です。この御言葉を毎日祈ってください」（メッセージ3より）。

- エペソ 3:16 どうか御父が、彼の栄光の豊富にしたがい、力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいように。
- エペソ 3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、
- エペソ 4:4 一つからだ一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。
- エペソ 4:5 一つ主、一つ信仰、一つバプテスマ。
- エペソ 4:6 すべてのものの神また父は一つ、この方はすべての上に、すべてを貫き、すべての中におられるのです。

Day14 神の終極の動きに対して負担を持つように祈る

「あなたが地上にいるのは、ただ生計を立てるためであってはなりません。それはあまりにも低すぎます。神の終極の動きに対して負担を持ちなさい。そうすれば、神とあなたが一であるのを見るでしょう。あなたの生活には何の問題もないでしょう」（世界情勢と神の動き 第4章）。（コロサイ 2:2. 1:27. 3:4. 2:19. エペソ 1:22-23）。

- コロ 2:2 それは、彼らの心が慰められ、彼らが愛の中で結び合わされ、理解力から来る全き確信のあらゆる豊富へと至るため、すなわち、神の奥義なるキリストを知る全き知識へと至るためです。
- コロ 1:27 神は彼らに、異邦人の間にあるこの奥義の栄光の豊富がどんなものであるかを、知らせたいと願われました。それはあなたがたの内にいますキリストであり、栄光の望みです。
- コロ 3:4 わたしたちの命なるキリストが現される時、あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。
- コロ 2:19 かしらに結び付いていないのです。この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。
- エペソ 1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。
- エペソ 1:23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。

”

Day15 終極の時代に起き上がり、忠信になって、終極の責任を担うために祈る

「必要とされているのはただ、わたしたちの忠信さです。わたしたちはみな忠信でなければなりません。わたしたちはみな彼を追い求めなければなりません。わたしたちは、自分が生きているこの時を尊ばなければなりません。わたしたちは回復のビジョンを尊ばなければ

なりません。わたしたちは自分の責任を尊び、他のあらゆることを忘れなければなりません。」(世界情勢と主の動き、第5章)。(使徒 26:19、啓示録 2:26)

エペソ 1:5 みこころの大いなる喜びにしたがい、イエス・キリストを通して、わたしたちを子たる身分へと、彼ご自身へあらかじめ定められました。

使徒 26:19 こういうわけで、アグリッパ王よ、わたしは天のビジョンに背かず、

啓 2:26 勝利を得る者、わたしのわざを最後まで保つ者には、諸国民を治める権威を与える。

Day16 召会が大きな祈りと大きな要求をすることを学び、神の通られる道を備えるように祈る

召会が大きな祈りと大きな要求をすることを学んで、祈りの任務を遂行するように。小さな普通の祈りをするのではなく、平凡な問題のために祈るのでもなく、神の道が開かれるために大きな祈り、強烈な祈り、強力な祈りをするように(イザヤ 45:11、マタイ 16:19)

イザヤ 45:11 エホバ、イスラエルの聖なる方、彼を形づくった方はこう言われる、「わたしの子たちに起こる事について、わたしに求めよ。わたしの手のわざについて、わたしに命じよ。

マタイ 16:19 わたしはあなたに天の王国のかぎを与える。あなたが地上で縛るものはすべて、すでに天で縛られていたものであり、あなたが地上で解くものはすべて、すでに天で解かれていたものである」。

使徒 6:4 ただしわたしたちは、祈りと言の務めを堅く持ち続けることにしましょう。

Day17 神のみこころを遂行するために、信仰としての神をもって根気強く祈る

神に何かを行なっていただくようにただ求めるのではなく、神の権威を行使し、この権威を適用して、問題や取り除かれるべき事柄を対処することを学ぶことができるように。召会が完全な信仰を持ち、疑わないで、わたしたちの行なう事が完全に神のみこころにしたがっているということをはっきりと知ることができるように(マルコ 11:20-24、マタイ 6:10、18:19-20)

マルコ 11:22 イエスは彼らに答えて言われた、「神への信仰を持ちなさい。

マルコ 11:23 まことに、わたしはあなたがたに言う。だれでもこの山に向かって、『持ち上げられて、海に投げ込まれよ』と言い、心の中で疑わず、自分の言うことは成ると信じるなら、そのとおりになる。

マルコ 11:24 こういうわけで、わたしはあなたがたに言う。あなたがたが祈って求めるものはすべて、受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる。

マタイ 6:10 あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているよう

に、地でも行なわれますように。

マタイ 18:19 また、まことに、わたしはあなたがたに言う。あなたがたのうちの二人が求めるどんな事でも、地上で調和一致するなら、それは天におられるわたしの父によって成就される。

マタイ 18:20 二人または三人がわたしの名の中へと集められている所には、わたしがその中にいるからである」。

Day18 失望せず、主の再来の時まで「その信仰」を保つために祈る

わたしたちが継続的に根気強く祈って、主とミングリングされて、自然に主が願っていることを祈ることができるように。二つの意志（神のみこころとわたしたちの意志）の調和が起きるように。主が願っている事を、わたしたちも願うように（ルカ 18:1-8, 28, 34. エステル 4:14. マルコ 11:22)

ルカ 18:1 またイエスは、彼らが絶えず祈るべきであり、また失望しないように、たとえを話して

ルカ 18:2 言われた、「ある町に、神を恐れず、人を尊重しない裁判官がいた。

ルカ 18:3 その町にあるやもめがいて、いつも彼の所に来ては、『わたしを訴える者に復讐してください』と言っていた。

ルカ 18:4 彼はしばらくは取り上げようとしなかったが、後になって心の内で言った、『わたしは神を恐れないし、人を尊重しないが、

ルカ 18:5 このやもめがわたしを煩わすから、彼女のために復讐してやろう。そうでないと、ひっきりなしにやって来ては、わたしを消耗させるであろう』。

ルカ 18:6 主は言われた、「この不義な裁判官の言っていることを聞きなさい。

ルカ 18:7 まして神は、日夜ご自身に叫び求める選ばれた者の復讐を決してしないで、彼らをいつまでもほうったままにしておくことがあろうか？

ルカ 18:8 わたしはあなたがたに言う。彼は速やかに彼らの復讐をなしてくださる。しかし、人の子が来る時、地上に信仰を見いだすであろうか？」。

エス 4:14 もし、あなたがこの時に黙っているなら、ユダヤ人のための助けと救いが別の所から起こり、あなたとあなたの父の家は滅びるであろう。あなたがこの王国に来たのは、このような時のためでなかったと、だれが知るであろう？」。

Day19 訴える者である悪魔サタンに関して、神に復讐していただくために根気強く祈る

「ご主人さま、いつまであなたは地上に住む者たちを裁かず、わたしたちの血の報復をなさらないのですか？」と彼らは血の報復を主に求めています。わたしたちも「主よ、あなたはどれだけこの事を許すのかと言うべきです。わたしにとってこれは長すぎます」と祈るべき

です（メッセージ4）。（啓示録 6:10. 8:3-5）

- 啓 6:10 彼らは大声で叫んで言った、「聖なる真実なるご主人さま、いつまであなたは地上に住む者たちを裁かず、わたしたちの血の報復をなさらないのですか？」。
- 啓 8:3 また、もうひとりの御使いが来て、金の香炉を持って祭壇の所に立った。多くの香が彼に与えられたが、それはすべての聖徒の祈りと共に、御座の前にある金の香壇の上にささげるためであった。
- 啓 8:4 その香の煙は、聖徒たちの祈りと共に、その御使いの手から神の御前に立ち上った。
- 啓 8:5 その御使いは香炉を取り、それに祭壇の火を満たして地に投げた。すると、雷鳴と声といわずまと地震とがあった。

Day20 神の召しに答えて、彼の時代の手段となって、時代を転換させるために祈る

わたしたちが神に対して時代の価値のある人となり、神の目に「尊ばれる人」となるように。そして、ダニエルのように仲間と共に、絶対的に献身して、サタンに従う時代から神へと分離されるように（ダニエル 12:3. マタイ 13:43. 詩 110:3. ダニエル 10:19）。

- ダニ 12:3 思慮深い人たちは大空の輝きのように輝き、多くの者を義に導く者は星のように永遠に至ります。
- マタイ 13:43 その時、義人は彼らの父の王国で太陽のように輝く。聞く耳のある者は、聞くがよい。
- 詩 110:3 あなたの民は、あなたの戦いの日に、献身の輝きの中で、自発のささげ物となる。あなたの若者はあなたにとって、夜明けの胎から出る露のようになる。
- ダニ 10:19 そして、彼は言った、「尊ばれる人よ、恐れてはならない。平安があなたにあるように。強くありなさい。そうだ、強くありなさい」。彼がわたしに語ったとき、わたしは力を受けて言った、「主よ、語ってください。あなたはわたしを力づけてくださったからです」。

Day21 神の言を通して神の願いへと結び付くために祈る

神の言を定期的に読むだけでなく、祈りの霊と雰囲気の中で神の言葉を読み、神の言から神の願いに触れるように。それから、直ちにその神の願いへと結び付き、聖書がわたしたちの生活に影響を与えるように（ダニエル 9:1-4. 詩 119:11, 15-16. マタイ 7:24）。

- ダニ 9:2 すなわち彼の統治の第一年に、わたし、ダニエルは、預言者エレミヤに臨んだエホバの言葉、すなわち文書によって、エルサレムの荒廃の満了の年数は、七十年であることを理解した。
- ダニ 9:3 そこで、わたしは顔を主なる神に向けて求め、断食と荒布と灰をもって祈り、

また嘆願した。

- ダニ 9:4 わたしは、エホバ・わたしの神に祈り告白して、言った、「ああ、主よ、大いなる畏るべき神よ、あなたを愛し、あなたの戒めを守る者には、契約と慈愛を守られる方よ、
- 詩 119:11 わたしは心にあなたの言葉を蓄えて、あなたに罪を犯さないようにしました。
- 詩 119:15 わたしはあなたの教訓を思い巡らし、あなたの路を重んじます。
- 詩 119:16 わたしはあなたのおきてを喜びとし、あなたの言葉を決して忘れません。
- マタイ 7:24 こういうわけで、わたしのこれらの言を聞いて行なう者はすべて、自分の家を岩の上に建てた思慮深い人にたとえることができる。

Day22 祈りの人となるために祈る

祈ることによって神と協力し、神の忠信な祈りの経路となって、地上で神のエコノミーが遂行されるように。祈りは、主の回復の生命線（ライフライン）であるので、サタンがわたしたちの祈りを妨げようとすればするほど、ますます祈るように（ダニエル 2:17-19, 28:6:10, 3）。

- ダニ 2:17 それから、ダニエルは自分の家に行き、彼の仲間のハナニヤ、ミシャエル、アザリヤに、この事を知らせた。
- ダニ 2:18 彼らはこの奥義について天の神に深い同情を求め、ダニエルとその仲間が、他のバビロンの知者たちと共に滅ぼされることのないようにと願った。
- ダニ 2:19 その時、夜のビジョンのうちに、この奥義がダニエルに啓示された。そこでダニエルは天の神をほめたたえた。
- ダニ 6:10 さて、ダニエルはその文書が署名されたことを知って、自分の家に行った。彼は彼の上の部屋でエルサレムに向かって窓を開けていた。そして日に三度ひざまずき、彼の神の御前に祈り、感謝をささげた。彼は以前から、いつもそのように行っていたからである。
- ダニ 6:3 このダニエルは、大臣や太守の間で際立って優れていた。それは、彼の中に優れた霊があったからである。王は彼を全国の上に立てて治めさせようと考えた。

Day23 時を贖い取るために祈る

神のみこころを知る者となり、あらゆる機会を捕らえて最大限に活用し、新しい地を開拓してみこころを行ない、いなごに食べられた年を償い戻されるように。また、今日の勝利者として、イッサカルの子たちのように、「時を知っていて、イスラエルが何をなすべきかを知っている人々」となるように（コロサイ 4:5. ダニエル 11:32. ヨエル 2:25. 歴代上 12:32

前半)

- コロ 4:5 外部の人々に対して知恵の中を歩き、時を贖い取りなさい。
- ダニ 11:32 彼は滑らかな言葉をもって、契約を破る者たちに、冒とくさせます。しかし、自分の神を知る者たちは、力を示して事を行ないます。
- ヨエル 2:25 群がるいなご、なめ尽くすいなごと食い尽くすいなごとかみ切るいなご、すなわちわたしがあなたがたの間に送った大軍勢が食べた年を、わたしはあなたがたに償い戻す。
- 歴代上 12:32 イッサカルの子たちから、時を知っていて、イスラエルが何をなすべきかを知っている人々のかしら二百人、彼らの兄弟たちはみな彼らの命令に従った。

Day24 今日の勝利者、バイタルな人になるために祈る

わたしたちが勝利者、バイタルな人（生き生きとしていて活動している人）になる決意をして（士 5:15-16）、サルデスの死んだ状態に打ち勝ち（啓 3:1）、ラオデキヤのなまぬるさに打ち勝ち（15-16 節）、ヨハネ第 15 章の実を結ばないことに打ち勝つように（ヨハネ 15:2, 4-5, 16）。

- 士 5:15 イッサカルの首長たちはデボラと共にいた。イッサカルはバラクに忠誠で、彼の後に谷へと遣わされた。ルベンの支族の間では、心に大きな決意があった。
- 士 5:16 なぜ、あなたは羊の囲いの間に座って、羊の群れに笛を吹くのを聞いているのか？ ルベンの支族には、心に大きな探求があった。
- 啓 3:1 サルデスに在る召会の使者に書き送りなさい、『神の七つの霊と七つの星を持つ者が、こう言われる。わたしはあなたのわざを知っている。あなたは生きているといのは名だけで、実は死んでいる。』
- 啓 3:16 そのように、あなたはなまぬるくて、熱くも冷たくもないので、わたしはあなたをわたしの口から吐き出そうとしている。
- ヨハネ 15:2 わたしにある枝で実を結ばないものはすべて、彼は取り去られる。そして実を結ぶ枝はすべて、もっと実を結ぶようと、彼は手入れされる。
- ヨハネ 15:16 あなたがたがわたしを選んだのではない。むしろ、わたしがあなたがたを選んだのである。そしてあなたがたを立てた。それは、あなたがたが出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり、あなたがたがわたしの名の中で父に求めるものは何でも、彼があなたがたに与えてくださるためである。

Day25 全時間訓練のために祈る

全時間訓練は勝利者を生み出すためにあります。すべての若者が勝利者になる志を持って全時間訓練に行く雰囲気は諸召会の間に建て上げられるように。そして彼らが、真理で構成

され、命において成長し、奉仕を学び、福音の霊に燃え、良い性格を建て上げて、主に用いられる時代的手段となって、召会の建造に役立つ器となるように（詩 110:3、I テモテ 2:4、II テモテ 2:21-22）。

詩 110:3 あなたの民は、あなたの戦いの日に、献身の輝きの中で、自発のささげ物となる。あなたの若者はあなたにとって、夜明けの胎から出る露のようになる。

I テモ 2:4 神はすべての人が救われて、真理の全き知識へ至ることを願っておられます。

II テモ 2:21 ですから、だれでも自分自身をこれらのものから清めるなら、その人は尊いことに用いられる器となり、聖別され、主人に役立ち、あらゆる良いわざに間に合う者となるのです。

II テモ 2:22 ただし、あなたは若い時の欲から逃れなさい。そして純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、義、信仰、愛、平和を追い求めなさい。

Day26 すべての勝利者から成るキリストの花嫁を準備するために祈る

すべての勝利者から成るキリストの花嫁が準備され、新エルサレムの初期の新鮮な段階にあずかることができるように。また、新エルサレムを満ち満ちた方法で究極的に完成し、新天新地においてキリストの妻となって、永遠に至るように（啓 19:7、21:2、9-11）。

啓 19:7 わたしたちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。

啓 21:2 わたしはまた聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように整えられて、天から出て神から下って来るのを見た。

啓 21:9 また、七つの最後の災害が満ちた七つの鉢を持った七人の御使いの一人が来て、わたしに語って言った、「ここに来なさい。あなたに小羊の妻である花嫁を見せよう」。

啓 21:10 そして彼はわたしを霊の中で、大きな高い山へ連れて行き、聖なる都エルサレムが、天から出て神から下って来るのをわたしに見せたが、

啓 21:11 それは神の栄光を持っていた。その光は最も尊い宝石のようであり、水晶のように透明な碧玉のようであった。

Day27 花嫁の用意のために、命において円熟し、仲間の信者と共に建造されるように祈る

わたしたちが成長し続けて、ついには神聖な命において円熟して、完全に成長した人となり、キリストの豊満の身の丈の度量に到達するように（エペソ 4:13）。花嫁が円熟するために、花嫁の信仰と愛が完全に発展して（テトス 3:15、ガラテヤ 5:6）、「若い信者たち」が「信仰」と「愛」において、完全に成長するように顧み、牧養するように（雅 7:12、8:8）。

エペソ 4:13 ついにわたしたちすべては、その信仰の一に、また神の御子を知る全き知識の

一に到達し、一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達するのです。

テトス 3:15 わたしと共にいる者たち一同が、あなたによろしく。わたしたちを信仰の中で愛している人たちによろしく。恵みがあなたがた一同と共にありますように。

ガラ 5:6 なぜなら、キリスト・イエスにあっては、割礼も無割礼も何の効力もなく、ただ愛を通して働く信仰だけが、効力があるからです。

雅 7:12 わたしたちは、早く起きてぶどう園に行き、ぶどうの木が芽を出したか、花が咲いたか、ざくろの花が咲いたかを見ましょう。そこでわたしの愛をあなたに与えましょう。

雅 8:8 わたしたちに小さい妹がいるが、彼女にはまだ乳房はない。わたしたちの妹に縁談のある日には、彼女のために何をしてあげよう？

Day28 花嫁として美しくされるために祈る

キリストが召会の中へと造り込まれ、そして召会を通して表現されて、花嫁の美しさは出て来るように（エペソ 3:17 前半）。わたしたちの唯一の美しさが、わたしたちの内側から輝き出るキリストとなるように。わたしたちの中へと美しさとしてのキリストが造り込まれ、キリストが表現されるように（エペソ 5:26-27）。

エペソ 3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、

エペソ 5:26 それはキリストが召会を聖化し、言葉の中の水の洗いによって召会を清めるためであり、

エペソ 5:27 またそれは、しみやしわや、そのようなものが何もなく、聖くて傷のない栄光の召会を、彼がご自身にささげるためです。

Day29 神の敵を打ち破る戦士となるために祈る

キリストが戦う将軍として来て、ハルマゲドンで反キリストと戦うために、彼の軍隊である花嫁を得られるように（啓 19:11-21）。わたしたちが全生涯にわたり、神の言葉としてのキリストに従い通し、ハルマゲドンで敵と戦う花嫁・軍隊となるよう資格づけられるように（19:13）。

啓 19:11 またわたしは、天が開かれるのを見た。すると見よ、白い馬と、それに座している「忠信」と「真実」と呼ばれる方がおられた。彼は義の中で裁き、また戦う。

啓 19:12 彼の目は火の炎であり、彼の頭には多くの王冠があった。彼には、ご自身のほかだれも知らない名が書かれている。

- 啓 19:13 彼は血に浸された衣をまとっている。また、彼の名は神の言と呼ばれる。
- 啓 19:14 そして天にある軍勢が白い馬に乗り、白くて清い細糸の亜麻布を着て彼に従った。
- 啓 19:15 彼の口からは鋭い剣が突き出ており、彼はそれをもって諸国民を打つのである。彼は鉄の杖をもって彼らを牧養する。彼は全能者である神の激怒の憤りの酒ぶねを踏む。

Day30 キリストと彼の勝利を得た花嫁が人類の統治の総合計を打ち砕いて、神の王国をもたらすように祈る

キリストは地に下って来る前に、婚宴を持ち、彼の勝利者たちを彼ご自身に結合させ一体とならせます（啓 19:7-9）。主は婚宴の後、彼の花嫁と共にやって来て反キリストを滅ぼします。神が人類の統治を打ち砕き、全宇宙を一掃した後、キリストと彼の勝利者たちが、大きな山となって全地を満たし、全地を神の王国とするように（ダニエル 2:35, 44）。啓 19:7
わたしたちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。

- 啓 19:8 彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された。その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義である」。
- 啓 19:9 御使いはわたしに言った、「小羊の婚宴に招かれている者は幸いである、と書き記しなさい」。彼はまたわたしに言った、「これらは神の真実な言である」。
- ダニ 2:35 すると、鉄、粘土、青銅、銀、金はみな一度で碎かれ、夏の打ち場のもみ殻のようになり、風がそれを吹き払って、跡形もなくなりました。そしてその像を打った石は、大きな山となって全地を満たしました。
- ダニ 2:44 この王たちの日々に、天の神は一つの王国を興されます。それは決して滅ぼされることがなく、その支配は他の民に渡されないでしょう。それはこれらすべての王国を砕いて、絶やしてしまいます。そして、それは永遠に立ちます。